



「みどりの日」ってなあに

いぜん てんのうたんじょうび
以前は「天皇誕生日」だった

「みどりの日」は4月29日の日本の祝日です。昭和天皇がおられたときは、「天皇誕生日」としての祝日でしたが、平成になってからみどりの日となりました。

昭和天皇は生前、日本の自然をととても愛された方でした。ことに生物への関心が深く、相模湾の各種ヒドラ虫類の研究は、学習院初等科の6年生のときから、70余年もつづけられていました。また、別荘地があった栃木県那須での植物の研究も、長年つづけておられました。

てんのう ぎょうせき
みどりをよみがえらせた、天皇の業績をたたえて

しかし、昭和天皇がいちばん力をつくされたことは、第2次世界大戦で荒れはてた日本の国を、みどりでよみがえらせることでした。

1950年（昭和25年）から、「全国植樹祭」が行われ、日本の山々に木を植える運動がさかんになりましたが、昭和天皇は、ほとんど毎年4～5月になると、この行事のために全国に出かけて、植樹をされたのです。植えられた木は、ヒノキ、アカマツ、スギなどです。

植樹祭への出席は、亡くなられる2年前の、1987年（昭和62年）までつづきました。植樹された地方は、38道府県になります。

このような昭和天皇の業績を長くとどめようと、4月29日をみどりの日として、国民の祝日にしたのです。（監修・保岡 孝之）

